

降雪の影響について

1. 降雪などによる通行止実施状況

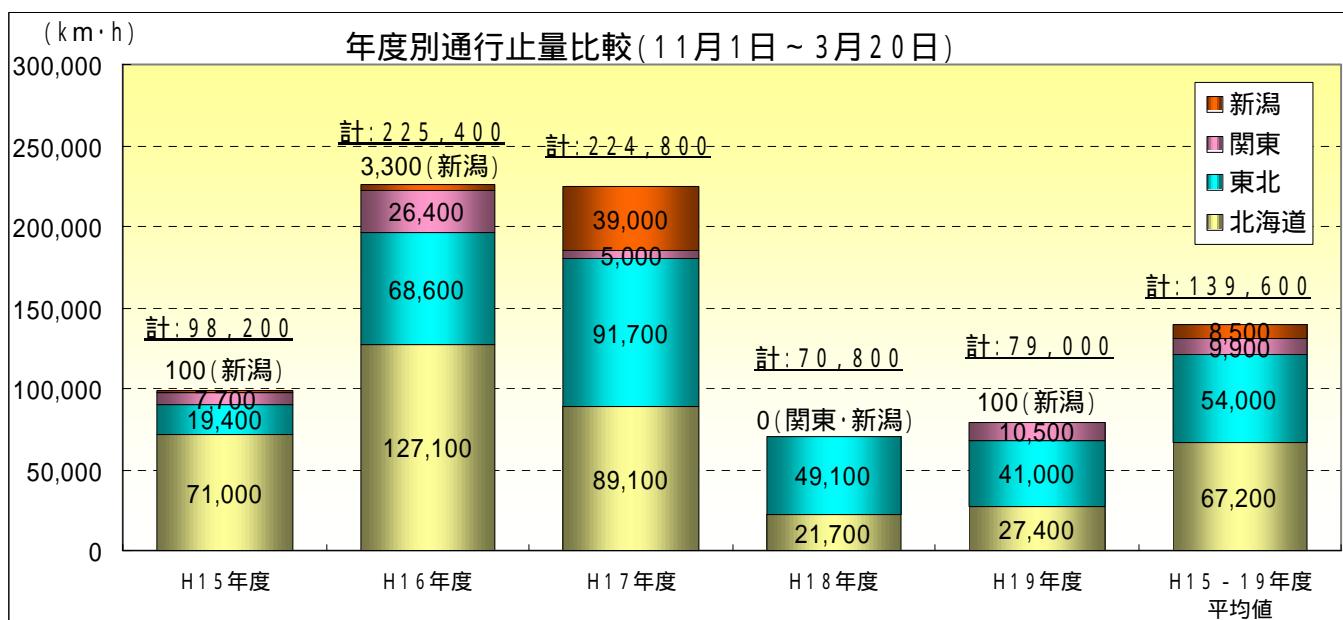
雪による通行止量()は、平成19年11月1日から平成20年3月20日までの間で、約79,000 km·hとなり、雪の影響による通行止の少なかった平成18年度の同期間よりは通行止量が増加(約110%)しておりますが、5ヵ年平均値との比較では60%程度となっております。

通行止量

通行止を実施した区間距離に通行止時間を乗じた通行止の絶対量を表す指標。

$$\text{通行止量} (\text{km} \cdot \text{h}) = \text{通行止区間距離} (\text{km}) \times \text{通行止延べ時間} (\text{h})$$

通行止量による対比 <速報値>



【参考: 累計降雪量】

3月20日までの累計降雪量は、過去東日本管内で一番の降雪を記録した関越道の土樽で約15mであり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約8m)と比較して約190%、過去5ヵ年平均(H15～H19)の同時期の累計降雪量(約17m)と比較して約90%となっています。また、山形道の月山では約20mであり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約11m)と比較して約180%、過去5ヵ年平均の累計降雪量(約18m)と比較して約110%となっています。

